

いわみざわ

農業委員会だより

No.20

令和6年1月発行

令和5年 道外視察研修(広島県)



広島県世羅町役場
農業委員会との意見交換の様子



広島県廿日市市
ふれあい市場「よりん菜」

あけまして
おめでとう
ございます

2024

主な 内容

- 年頭のあいさつ
- 農業従事者、農地流動化情報、農地パトロールの様子
- 農地の売買等について、農業者年金情報
- 編集後記

年頭に当たって



岩見沢市農業委員会
会長 佐々木 利夫



明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げますとともに、皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素より農業委員会の活動に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さらに、昨年7月の第25期農業委員の改選にあたり、委員諸氏のご推挙を戴き会長に就任いたしました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、春先は融雪が早く、小麦・水稲・大豆・玉葱などの春作業は順調に進みましたが、6月の低温と日照不足、そして何といても北海道全域で暑い夏となり、岩見沢市においても8月の真夏日が23日間を記録し、特に8月25日の最高気温は35.7度を観測、1898年以来の正に災害級の猛暑となつたことから、暑さが要因となる熱中症等の恐れにより、農作業にも影響が出るのが懸念されるほどでありました。

このように暑い夏ではありましたが、水稲においては、高い気温による影響で異例の8月23日から収穫が始まった地域もあり、豊作が期待されていたところでしたが、不念粉は少なかつたものの心白と腹白粒の発生、さらに倒伏も多く収穫が進まなかつたことから、タンパクが高推移し品質の低下となつてしまいました。

その結果、くず米・中間粒をいれれば平年以上の収量となりましたが、製品率が良くなく当初の見込みとは異なる結果となつてしまいました。

また、主要作物である麦は、品質・収量とも例年以上となりましたが、玉葱は前半こそ大玉傾向で出来秋が期待できたものの後半は高温の影響で小玉傾向となつてしまい、大豆においても8月の台風7号の強風の影響で、さや内の大豆が揺らされることにより傷がつき、その傷から雑菌が発生し黒ずみや落葉が進まなかつたことから、収穫時期が遅れ収量・品質とも良くない結果となつてしまいました。

一方で農業情勢は、水田活用の直接支払交付金の見直しにより、農家個々は交付対象外水田とならないよう令和8年までに作付け・水張りに苦慮している最中国は、転換作物が固定化している水田の畑地化を促す畑地化促進事業を立ち上げたところであります。

しかしながら、畑地化を希望する農地が国の見込みを超える面積となり、岩見沢市においても、今年はまだ278haが採択されたものの、まだまだ畑地化を希望する農地が多くある状況となつており、今後水田活用の直接支払交付金、畑地化促進事業の予算確保を関係機関と連携しながら、強く国に要望していくところであります。

最後になりますが、本年も農業に携わる皆様は、将来に希望を持つて農業に取り組めるよう、地域に根ざした農業委員会活動に邁進いたすことを申し上げます。ともに、本年が実り多い豊かな年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

年 新 賀 謹

岩見沢市農業委員会

会長 佐々木 利夫
会長職務代理 日笠 和良

第一地区常任委員会

委員長 吉成 朗
副委員長 瀧本 勝範
委員 森田 孝洋
委員 柿崎 壽恵子
委員 佐々木 利夫

第二地区常任委員会

委員長 森 一男
副委員長 長井 孝之
委員 久保 智則
委員 松田 幸児
委員 井川 和也

第三地区常任委員会

委員長 山田 辰弘
副委員長 澁谷 豊
委員 西村 昭寿
委員 高田 勝彦
委員 引頭 一宏

第四地区常任委員会

委員長 尾田 憲朗
副委員長 戸田 憲一郎
委員 東 秋徳
委員 伊藤 俊春
委員 平 義昭
委員 米内 山裕子

第五地区常任委員会

委員長 川北 敏充
副委員長 岩瀬 孝雄
委員 今野 幸広
委員 留木 剛
委員 志賀野 敏

第六地区常任委員会

委員長 坂野 博之
副委員長 松永 有平
委員 干場 克二
委員 高嶋 佳代
委員 日笠 和良

第七地区常任委員会

委員長 長森 睦
副委員長 杉村 幸浩
委員 定塚 光晴
委員 近藤 良介
委員 黒島 勝美

農業委員会事務局

事務局長 土井 盛慈

農地係

係長 森田 佳章
主事 佐藤 一明
主事 森本 紗緒里

振興係

係長 船戸 崇之
主事 若林 宗洋
主事 小林 航
主事 伊藤 蓮

農業振興センター担当

主事 太田 和幸

土地改良推進事務所担当

主事 堀江 則行

よろしく
お願いします



令和4年度 農業従事者調査結果

地区	区分	年度	個人		法人		合計	
			戸数	人数	戸数	人数	戸数	人数
岩見沢		3	291	751	53	186	344	937
		4	282	726	55	192	337	918
北村		3	181	475	63	228	244	703
		4	176	462	64	229	240	691
栗沢		3	211	538	14	61	225	599
		4	20	518	16	67	218	585
計		3	683	1,764	130	475	813	2,239
		4	660	1,706	135	488	795	2,194

農地流動化状況

(令和4年11月から令和5年10月審議分)

単位：㎡

農地法第3条				農用地利用集積計画				農地法第4条		農地法第5条	
所有権		使用収益権		所有権		使用収益権		件数	面積	件数	面積
件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積				
22	321,559	42	5,261,873	176	7,428,223	134	5,000,042	4	3,245	6	7,688

農地パトロール

草刈り等の管理がされていない農地を重点的に、各地区ごとに班編成し、農地パトロール(利用状況調査)を毎年実施しています。

調査の結果、遊休農地又は遊休化の恐れがある農地と判断した場合は、農地の利用について、所有者の方等に意向を確認し、解消に向けた利用の調整を行います。

農地の利用についてお困りのことや、わからないことがありましたら、地域の農業委員又は農業委員会事務局へご相談ください。



農地の売買・賃貸借・転用等には許可が必要です！

農地法第3条	賃貸借権等の権利の移転、設定をするときの許可
農地法第4条	農地を農地以外（自分の住居・資材置き場等）に転用するときの許可
農地法第5条	農地を売買、賃貸借等により農地以外に転用するときの許可
農用地利用集積計画	あっせんによる賃貸借権等の権利の移転、設定をするときの許可

売買・賃貸借・農地転用には許可が必要です。
 また、相続等によって農地を取得した場合は、農業委員会へ届け出が必要です。
 届け出をされないと、賃貸借や売買などの権利移動に支障があります。
 また、耕作できない場合などは、農業委員会に相談してください。

農業者年金

農業者年金で安心・豊かな老後を

- 積立方式だから自分がかけた金額は年金として一生涯もらえます。
- 保険料はいつでも変更可能！（月々2万円から6万7千円まで）※1
- 支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の節税になります。
- 政策支援（保険料の国庫補助）が受けられます。

（例）認定農業者等の青色申告者で、35歳未満の方は10,000円（5割）補助
 ※1 35歳未満かつ政策支援加入の対象とならない方は月額10,000円



農業者年金へ加入しませんか

加入資格

1. 20歳以上60歳未満であり、(国民年金任意加入者は60歳以上65歳未満まで)
2. 年間60日以上農業に従事し、
3. 国民年金第1号被保険者(免除者を除く)

であれば、農地の名義を持たない人や配偶者や後継者など、男女の別なく、だれでも加入できる任意加入の年金です。自由に再加入や脱退もできます。

なお、農業者年金加入後、国民年金の付加年金(月額400円)の加入届を要します。
 経営者だけでなく、後継者あるいは、農業経営に参画している女性もぜひ新農業者年金に加入を!!

詳しくは、お近くの農業委員または農協にお問合せください。

編集後記

明けましておめでとうございます。
 「農業委員会だより」第20号をお届けいたします。
 今号から、これまで2色だった農業委員会だよりをカラーにし、農業委員会の諸情報を掲載しております。たくさんの皆様に見てもらえるよう、尽力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

編集委員長 干場 克二
 編集委員 川北 敏充
 柿崎 壽恵子
 久保 智則
 高田 勝彦
 平 義昭
 近藤 良介